

金子亞未

オーボエ



プロフィール

東京藝術大学を首席で卒業。2010年第79回日本音楽コンクール第3位、2011年第28回日本管打楽器コンクール第1位、2012年第10回国際オーボエコンクール軽井沢第2位、奨励賞、軽井沢町長賞(聴衆賞)受賞。2012年7月より札幌交響楽団首席オーボエ奏者。千葉県出身。

紀尾井 明日への扉4

金子亞未

2014年3月10日(日)19:00

オーボエを始めたきっかけと
プロを目指した動機は?

首席奏者としての周りを引っ張っていく力
はまだ勉強中ですが、ベテランの楽団員
の方々に支えられながら頑張っています。

趣味は何ですか?
息抜きに何をしていますか?

小学校四年生の頃、学校の部活動に管弦
樂部があり、オーボエを募集しているという
ことで、始めました。顧問の先生がオーボエを
演奏させていたこともあり、オーボエを
始めた頃から良い状態の樂器やリードが揃つ
ていました。始めた頃は、まさか音大へ進みア
オになりたい、とは考えていませんでしたが、
高校生の頃に良い先生との出会いもあり、私
の原点でもあるオーケストラに入りたい、と
思うようになりました。

オーボエの魅力と難しさについて
教えてください。

魅力は音色にあると思います。私自身オー
ボエをやっているからかもしれません、オー
ボエの音色は特にひとりひとり、全く違う音
色がするように思います。オーボエには、上部
にリードというものがついています。葦を使い
演奏者自身が加工しますが、これがとても難
しいです。長い時間をかけて作っても、演奏会
には使えないものがほとんどです。でも、その
難しさこそ、魅力の一つかもしれません。

札幌交響楽団で首席奏者として
ご活躍ですが、プレッシャーは感じ
ますか?

2012年の国際オーボエコンクール・軽井沢で日本人として最高位の2位に輝き、現在23歳にして札幌交響楽団の首席奏者として活躍中の実力派、金子亞未。チャーミングでおととりし
た外見からは想像できないスケールの大きな演奏が持ち味です。若きオーボイストの原点と
今、そしてオーボエの魅力について語っていただきました。



平川加恵(ピアノ)